

全市一斉パトロールをしてきました

新栄早渕地区 鈴木 隆 暢

梅雨明けが発表され酷暑となった7月19日の夜、全市一斉パトロールが行われ、私も参加してまいりました。

当日は、せせらぎ公園で“グルメフェスタ in 仲町台”が催されており、いつもは静かな仲町台周辺もにぎやかな雰囲気となっていました。

これは、パトロール中に何かあるかもしれないなという思いがありました。

さて、ユニフォームのポロシャツに身を包み、腕章と名札をつけた9人の青少年指導員が、やまどり公園に集合したのは夜10時です。そこから、各コンビニエンスストア、書店で有書図書陳列の区分調査を行いつつ、仲町台駅まで向かいます。

パトロール中には、非行と判断されるような事柄はなく無事に仲町台駅までたどりつきました（ほっとしました）。

そこから、往路とは別ルートをパトロールし、

やまどり公園に戻ったのは夜11:30でした。

予想以上に仲町台周辺は静かな町であることが確認でき、安心するとともに、これは町内のみなさまの目配り気配りで作りあげられているのだらうと思いました。

最後になりましたが、コンビニエンスストア、書店の皆様には、営業時間中にもかかわらず、快くご協力をいただくことができました。ありがとうございました。

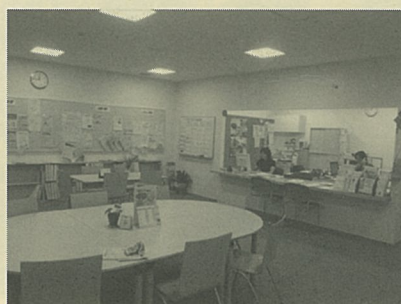


都筑多文化・青少年交流プラザ

渋沢地区 清水 良枝 / 茅ヶ崎南MGC地区 上永 洋美

昨年12月、センター北駅前のノースポート・モール5Fに都筑多文化・青少年交流プラザがオープンしました。ここは、国際交流ラウンジ機能と青少年の地域活動拠点機能を併せ持つ施設です。

プラザ内には青少年のための音楽・ダンスのスタジオ等があり、放課後や休日は中高生でにぎわっています。



ここで活動している青少年グループはプラザの支援により区内で行われるイベント等に出演し、地域との繋

がりを持っています。

また、中高生たちはスタッフと気軽に会話を楽しみ、親に見せない表情を見せたり、将来に対する考えを話していく子もいるそうです。

林田館長は「会話を通して彼等の背中を押す力になれば」と話してくださいました。

今後、ボランティア体験セミナー等、青少年活動をさらに広げていくと同時に、外国人支援活動にも力を入れていくそうです。皆さんもプラザに足を運んでみませんか。たくさんの情報が手に入れますよ！



「わっ あっごーい!!」



都田地区 長岡 智和

都田地区では7月26日(土)10時より、JA横浜きた総合センターにて、“じゃがいも掘り & ペットボトル・ロケット作り”のイベントを開催しました。

子ども会(新栄早瀬、仲町台、東方、折本、大熊、川向)の協力を得て、30度を超える暑さの中、子ども93人、大人56人(子ども会、親御様、役員)と、大勢の方々に参加いただきました。

じゃがいもは、東方町の青少年指導員・岩井さんの畑をお借りして、3月に定植し、5月に芽掻。そしてこの日、ようやく収穫を迎え

ることとなりました。

ロケット作りは、6月に都筑区青少年指導員連絡協議会の研修会が行われ(P1参照)、都田地区の青少年指導員は10人全員が出席。この日も日本ペットボトルクラフト協会横浜支部の方々を中心に、私達がサポートする形を取り、今回は参加者も多いことから地区を二手に分け、掘る・作るを入れ替え制にしました。

不慣れな点も多く心配でしたが、怪我や事故もなく、最後には参加者全員にじゃがいも2kgのお土産付きと、大盛況で無事終わることが出来ました。

..... 現 場 レ ポ ー ト

こちらは“じゃがいも掘り”の畑です。

“昨年も参加したお友達”や“今年初めて参加したお友達”がいましたが、多くのお友達は初体験です。

「わーっ! すっごーい。まだまだあるー。ここにも! こっちにも! 小さくてかわいー。」
「でっけーなー!」と、この汗・この笑顔。



場所を移してこちらは“ペットボトル・ロケット作り”の部屋です。みんな、真剣そのもの。

「ぼくのが、わたしのが、一番さっ! ねーねー、見て見てー!」と。。

おやおや、お昼の“カレーライス”ですね。取れたてのジャガイモを大きなお釜で“グツグツ・グツグツ”と、とーってもいい香りです。

「熱っ。あつっ。うん。うまい、うまい。おいしー。お外で食べるのって美味しいねっ!」と、みんな大満足です。



ここはすぐ隣のJAグラウンドです。さーっ! お腹も気分も大満足です。手作りロケットを広いグラウンドで飛ばしてみよう!



「3・2・1・ゼロー、プッ・シューーッ。わっ! すごーい! こんなに飛ぶのー。。

おれの見た、わたしのどうだったー。もう一回、もう一回やろー。」

お友達っ! また思い出の1ページを作れましたネ。。皆様、大変お疲れ様でした。

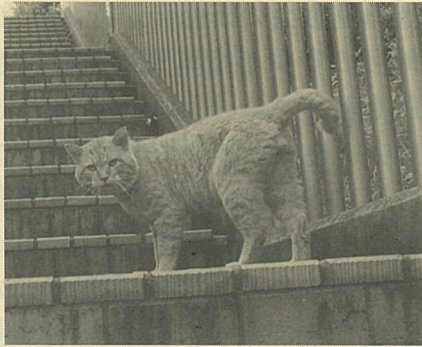
● 青少年指導員が見た地域の課題 ●

のらネコから地域猫へ

安藤 晴雄

私の住まいは公園のすぐそばにあります。今、のらネコ問題が起きています。

公園管理者、近隣住人、猫にえさを与える人とのトラブルです。肝心の“猫を捨てた人”が入っていません。えさを与える

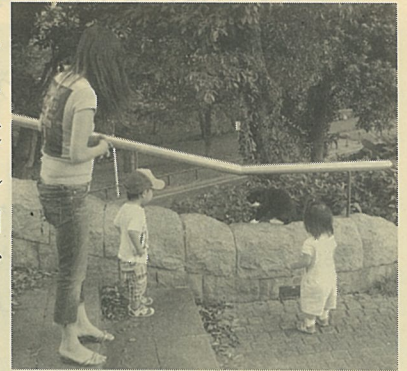


人は「猫がかわいそう」と思うのですが、えさ容器の後始末は近隣住人がしますし、カラスがえさを目あてに集まってきます。えさ容器をゴミだと思ふのか、飲み物の容器を捨てていくカラス以下の人間もいます。糞を庭先にされたりもします。コショウ、トウガラシなどをまき、臭いも消し去るように掃除したら、解決しました。

まず捨てさせないことなのでしょうが、ペット

ショップでは（有料で）引き取らないのでしょうか？ のらネコとはいえ血統書のあるような猫なのです。人に飼われていたので、子どもに触られても爪を立てることもありません。遠くから、えさ持参でやってくる小学生もいました。小学生が触りたい一心で、逃げる猫を追いかけて庭に入ってきたり、石を投げて窓ガラスが割れたこともありました。そんなふうにならぬほど触れ合いたいのですね、きっと。

◆ 今現在ののらネコは、地域猫として見守っていくしかありません。近隣住人としてこれ以上に増えては困りますが、トラブルのないよう願っています。

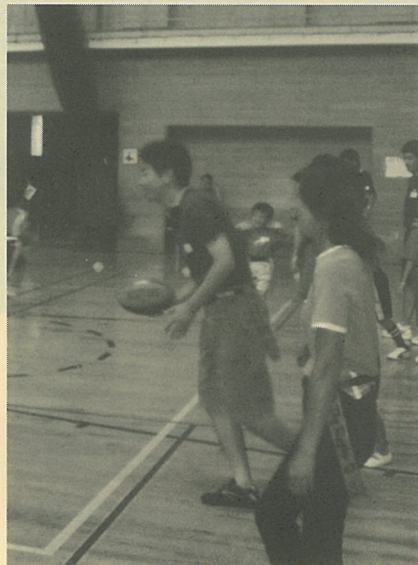


青少年指導員が紹介するニュー・スポーツ

タグラグビーって？

川和地区 小出 初江

タグラグビーは1990年代初めにイギリスのデボン州で生み出された新しい形のラグビーです。タックルなどの接触プレーを一切排除しているため誰でも安全に楽しむことができます。最近では小学校の体育で取り入れるところもあるなど、注目のスポーツです。



コートはバレーボールコートで行います。ラグビーボールを持って走る、と

でも簡単な競技です。

でも簡単な競技です。

タグとは、マジックテープのついたひものこと。腰にマジックテープがついたベルトを巻き、左右にタグをぶら下げます。二組で対戦し、タグを相手方に取りられたら、自分のチームの人にボールを渡します。その間にボールが相手に渡ったらタグ取りに変わります。

■トライ＝相手方のコートに走りこんでボールを両手で置けば、得点になります。

■アシスト＝ボールを持って走り相手方にタグを取られたら味方の人にボールを渡し、5回までは次々とつなげます。

私もはじめは、参加して楽しんでいました。しかし、子ども達の身軽さには追いついていきません。すぐターゲットになり取られてしまいます。もう少し若かったらと気を落としている次第です。

